

観覧  
無料

北前船が運んだ、  
焼き物の物語。



開館40周年記念・寄贈記念 特別企画展

# 柴澤 コレクション

40th Anniversary/Special Commemorative Exhibition:  
The Shibasawa Collection

このたび新潟や山形に伝来した江戸時代の肥前磁器(古伊万里)を中心とする  
柴澤一仁氏のコレクションが寄贈されました。

日本海海運によって北東日本海沿岸地域に流通した多様な肥前磁器の数々を御紹介します。

2020 **10.16** [金] - **12.13** [日]

会場\_佐賀県立九州陶磁文化館(第1・2・3展示室)

開館時間\_9:00~17:00

休館日\_月曜日(ただし11月23日[月・祝]は開館、翌11月24日[火]休館)

主催\_佐賀県立九州陶磁文化館

 佐賀県立九州陶磁文化館  
THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM



開館40周年記念・寄贈記念 特別企画展

# 柴澤 コレクション

40th Anniversary/Special Commemorative  
Exhibition: The Shibasawa Collection

佐賀県立九州陶磁文化館は、昭和55年(1980年)11月1日に開館し、令和2年(2020年)に40周年を迎えます。これまでの肥前地域を中心とする九州の古陶磁の調査研究が国内外で評価され、その実績が所蔵者・蒐集家の信頼につながり、多くの古陶磁を寄贈いただく契機にもなりました。この展覧会は、長年にわたって古美術の蒐集に情熱を注がれた故 柴澤一仁(しばさわ かずひと)氏のコレクションが当館に寄贈されたことを記念して開催するものです。平成28年(2016年)と令和元年(2019年)に寄贈いただいたものを合わせて432件1,179点が柴澤コレクションとして当館に所蔵されることになりました。新潟県や山形県に伝来した江戸時代の肥前磁器(古伊万里)を、各地域の旧家や古美術商をたずねるなどして蒐集されたものが主体となっており、このコレクションの大きな特徴となっています。江戸時代、日本海海運によって北東日本海沿岸地域に流通した多様な肥前磁器の数々を中心とするコレクションの全貌を御紹介します。

- ①色絵椿蓮文大皿(1650年代)肥前 有田
- ②染付花唐草文小皿(1610~1630年代)肥前 有田
- ③色絵鶴文鶴形小皿(18世紀前半頃)肥前
- ④色絵桃柘榴文瓶(1690~1720年代)肥前 有田
- ⑤色絵七宝唐花文八角小鉢(1720~1750年代)肥前 有田
- ⑥染付菊松皮菱文変形皿(1630~1640年代)肥前 有田
- ⑦色絵唐花唐草文皿(1690~1730年代)肥前 有田
- ⑧鍍金染付鷲文輪花小皿(1630~1640年代)肥前 有田
- ⑨色絵牡丹桜流水文鉢(1690~1720年代)肥前 有田
- ⑩色絵獅子牡丹丸文大皿(1710~1750年代)肥前 有田
- ⑪染付松島文小皿(1650~1660年代)肥前 有田
- ⑫青磁貼付梅文盃台(1630~1640年代)肥前 波佐見

## 北前船が運んだ、焼き物の物語。

### 第1章 肥前磁器の創始と確立



染付花唐草文小皿  
(そめつけ はなからくさもん こざら)  
1610~1630年代



色絵椿蓮文大皿  
(いろえ つばきはすもん おおざら)  
1650年代

### 第2章 日本的磁器の完成と展開



染付宝花唐草文分銅形皿  
(そめつけたからはなからくさもん ぶんどうがたざら)  
1660~1670年代



染付貝藻文鮑形皿  
(そめつけ かいそうもん あわびがたざら)  
1670~1690年代

### 第3章 国内市場の拡大と普及



色絵牡丹桜流水文鉢  
(いろえ ぼたんさくらりゅうすいもん はち)  
1690~1720年代



色絵桃柘榴文瓶  
(いろえ ももざくろもん びん)  
1690~1720年代

### 第4章 磁器需要の増大と産地間競合



染付龍文大皿  
(そめつけりゅうもん おおざら)  
1800~1840年代



色絵蘭人蝙蝠文蓋付碗  
(いろえ らんじんこうもりもん ふたつきわん)  
1810~1860年代

### 第5章 中国の磁器



染付蓮花文蓮華形皿  
(そめつけ れんげもん れんげがたざら)  
1600~1630年代



◎アクセス  
有田駅から徒歩約12分/波佐見・有田ICから車で約10分

佐賀県立九州陶磁文化館  
THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM

〒844-8585 佐賀県西松浦郡有田町戸約乙3100-1  
TEL0955-43-3681 FAX0955-43-3324  
E-mail kyuto@pref.saga.lg.jp  
HP <https://saga-museum.jp/ceramic/>

#### [新潟・山形に運ばれた古伊万里]

肥前・有田一帯(今の佐賀県有田町)で作られ始めた磁器は、江戸時代には主な積み出し港である伊万里津にちなんで「伊万里焼」と呼ばれました。今では江戸時代の肥前磁器を「古伊万里」とも言います。国内外の状態の変化に応じて発展を遂げた肥前磁器は、国内市場を席卷するようになります。新潟(越後・佐渡)や山形(出羽南半地域)にも、江戸時代に日本海沿岸を經由して結ぶ航路によって、肥前磁器が運ばれ大切に伝えられてきました。

九州陶磁文化館 検索